

## 未来の青森県を担う若人育成講座

本講座は、青少年（小学生～大学生）の自己肯定感や主体性を高めることを目的に、中学生・高校生・大学生対象の講座（コミュニケーション能力を高める講座等）と、小学生から大学生までを対象とした演習（寺子屋）を実施しています。演習は地域の公民館等を会場とし、勉強やレクリエーションなどを行い、異年齢交流をとおして青少年の育成を図っています。今年度は、青森市・黒石市・七戸町の3市町で実施しています。今年度実施した講座の一部と、各会場での演習の様子を御覧ください。

### 1 講座

#### (1) 第1講座 黒石・七戸会場 講義「寺子屋の目的、ボランティアの意義」

1年間の講座の流れや演習「寺子屋」の目的などを学びました。「なにかやってみたい。」「小学生と楽しく遊びたい。」などの希望を持った中学生・高校生が集まり、活発に前向きな意見が出され、今後の活動が非常に楽しみになりました。



#### (2) 第2講座 黒石・七戸会場 講義「コミュニケーション」

##### 演習「仲間づくり～アイスブレイク～」

第2講座は、小学生とスムーズにコミュニケーションをとるポイントについて講義・演習を行いました。話しやすい雰囲気作りや、聞き上手になる方法などを学び、後半は実際に相手の目を見てうなづく演習などを行い、その効果を確認しました。



#### (3) 第3講座 映画監督林弘樹と語る・創る「人生の扉をヒラク3日間！」

8月10日～12日までの3日間、講師に映画監督であり、内閣府地域活性化伝道師にも任命されている 林 弘樹 氏をお迎えし、「人生の扉をヒラク3日間」というテーマで講座を開催しました。ふるさと三部作と呼ばれる3作品「ふるさとがえり」「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」「惑う After the



Rain」上映と監督自身から制作の経緯や想いについて熱く語っていただきました。また、ワークショップでは、参加者自身の物語を語る方法・編集術を講義していただき、その後実際に自分自身の物語を作ったり、グループで1つのストーリーを作り、演じたりしました。参加者からは「監督をはじめ参加者の様々な意見に触れることができた。」「自分について見つめ直すことができた。」「一步踏み出して人と触れあう喜びがわかった。」など、講座をとおして成長した様子がうかがえました。



#### (4) 第5講座 小学生と販売体験しよう

10月1日、当センター生涯学習フェアに参加している出店団体に御協力いただき、小学生との販売体験を実施しました。もつけ焼き（焼きそば）、カレーライス、ポップコーンの3つのグループに分かれ、大きな声で「いらっしやいませ」と声をかけたり、小学生の動きをサポートしたりしました。お客様からの温かい言葉が自信につながる1日となりました。



## (5) 第7講座 「美術館見学」、「ハピたの活動紹介」「3地区交流」

1月20日～21日の2日間、青森市・黒石市・七戸町で寺子屋を運営している高校生・大学生15名が集まり、研修を行いました。七戸町立鷹山宇一記念美術館の見学から始まり、ハピたのカフェでは特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの代表理事 中沢 洋子 氏から活動紹介をしていただきました。その他にも、活動を始めた経緯や地域の子も達への願いなど、参加した高校生・



大学生から「これから頑張るために背中を押してもらえた」と声が挙がり、参加者のやる気に火がつく熱いお話をうかがうことができました。宿泊先の公立小川原湖青年の家では3地区（青森市・黒石市・七戸町）の寺子屋活動の課題を共有し、特に参加者を増やすためにはどうすればよいかについて、参加者が活発に意見を出し合いました。また、演習では「ネイチャーゲーム」の体験を行い、その効果や面白さを知ることができました。

## 2 演習「寺子屋」

講座を受講している中学生・高校生・大学生が中心となり、地域の公民館等を会場に、青森市では毎週日曜日、黒石市・七戸町では月1回日曜日に「寺子屋」を運営しています。しかし、思い通りにいくことばかりではありません。「話を聞いてもらえない。」「時間が足りない。」など、たくさんの『こんなはずじゃなかったのに。』という悔しい思いをバネに、悩み、話し合っって取り組んでいます。

### (1) 勉強タイム 13:00～15:00

小学生が持参した問題集に取り組みます。中学生・高校生・大学生は、小学生が苦勞しているところで上手にヒントを出し、時には一緒にどう解くか悩みながら、学校とは違う雰囲気の中で勉強を進めていきます。



### (2) 交流タイム 15:00～17:00

(黒石市、七戸町では冬期間16:00まで)

この時間帯は中学生・高校生・大学生たちが企画したレクリエーションで小学生と楽しい時間を過ごします。内容は天候や季節に応じてバラエティに富んでいて、畑に出るの農作業、グラウンドでの鬼ごっこ、絵本の読み聞かせ、卓球、雪だるま作りなどを行っています。前回までの反省を生かして今回はどうすればより楽しんでもらえるか、新しいレクリエーションにチャレンジしてみようかなど、試行錯誤しながら自信をつけ、仲間の大切さなどを学んでいます。



### (3) 成長した若者が地域を担う

「公民館に初めて入ったけど、楽しい場所だった。」「最初は何ができるかわからなかったけど、少し自信が持てた。」など参加者の感想から、公民館が身近になり、自信もついてきたことがうかがえます。自信を積み重ねた若者が学校や地域で様々な新しいことに挑戦していく第一歩を後押しするよう、来年度もこのような取組を続けていきます。

